

アウェアの被害女性プログラム

特徴：アウェアならではのプログラム

- 1) アウェアのDV加害者プログラムを基に被害女性向け教材を開発
- 2) DVが個人的な問題であり、社会的/構造的な問題であるという基本を学ぶ
- 3) ケース・スタディなどでDVについて具体的に学ぶ
- 4) DVは加害者が選択した行為であると学ぶ
- 5) ジェンダー（他の思い込みも）に気づくために学ぶ

目的：

- 1) **マイナスからの回復：**奪われたあなたの**チカラ**をマイナスからゼロに戻そう
 - ・回復は緩やかで、行きつ戻りつ、進んで行き、人によって速度も方法も違う。焦らないこと。支援を求めることができたのはあなたの**チカラ**。何より、アウェアにたどり着いたのはあなたの**チカラ**
- 2) **チカラをプラスする：**回復したら次のようなさまざまな**チカラ**をつけよう
 - ・つらい（つらかった）経験と向き合う**チカラ**
 - ・漠然とした加害者への“恐怖心”について、自分自身で解明していく**チカラ**
 - ・もう二度とDVされないし、DVさせない！と決意する**チカラ**
 - ・夫に対峙する勇気を持てる**チカラ**
 - ・自分のつらかった経験を黒歴史にしない**チカラ**
 - ・自分で決めて行動する**チカラ**
 - ・自分自身の人生を取り戻す**チカラ**
- 3) DV被害と現状を客観的に見られるようになる
- 4) DVは被害者に責任はないと理解し、納得できるようになる
- 5) 自分をしばる危険な価値観を学び落とす
- 6) 自分らしく生きる価値観と方法を身につける
- 7) 子どもを被害者にも加害者にもさせないようにする

実施：

- 1) グループで実施する（効果的）
- 2) 月1回～2回実施
- 3) 教材使用の学びと参加者の振り返りの両方に時間をつかう
- 4) 参加者がルールを守って意見交換をする
- 5) 安全に感情を吐き出す場を提供